

# カンボジアにおける建設業の現状について

岡山県カンボジアビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Heng Veng Ann)

## 1. はじめに

カンボジアは、1993年の初の総選挙以降、新憲法の制定をはじめ、行政の効率化、司法制度の整備、経済財政改革といった国内の重要政策の改革を進めている。それに伴い、同国への投資は増加している。カンボジア経済は緩やかな成長を続けており、カンボジア国立銀行によると2018年の同国経済成長率は、衣料品の輸出、観光業、建設業の堅調な業績により約7.3%に達すると予測されている。なお、国際通貨基金（IMF）が7.25%、世界銀行が7.1%、アジア開発銀行が7%といくつかの国際機関が同様の予測を発表している。海外からの投資も増えており、特に建設業に対する注目度は高い。そこで本稿では、カンボジア建設業の現状について報告する。

## 2. カンボジアにおける最大建設プロジェクト

建設業はカンボジアの主要産業の一つである。近年、多くの高層ビル、住宅、公共施設が建設され、2014年以降2017年までの4年間、建設プロジェクトの件数は増加傾向にある。現在、プノンペンにおいても133階建のTBR Twin Tower World Trade Centre（投資額約27億米USD）をはじめとして多くの高層ビルや住宅が建設されており、今後は中国やシンガポールの投資家を通じて市外のシアヌークビル州での建設プロジェクトも増えていくと予測されている。2017年におけるシアヌークビル州の建設案件は188件で、そのうち最大規模の建設プロジェクトは、シンガポール系企業のHong Lai Huat Groupが1140万USDを投資して建設したホテルD'Seaviewであり、当ホテルは2019年に完成予定である。その他、カンボジア最大の不動産会社Prince Real estate group社は多目的ビジネスセンターとしてPrince City Centerを約50億USDで建設する。

## 3. カンボジア建設省の報告書

年次報告書	2014年	2015年	2016年	2017年
総建設案件（件）	1960	2305	2405	3052
建築総面積（m <sup>2</sup> ）	約6,800,000	7,686,112	11,444,736	10,746,219
総投資額（USD）	約25億	約33億3800万	約52億5600万	約64億2800万
建設事業・建設計画調査のライセンス取得企業総数（社）	193	287	334	275

[前年同期比（増・減率%）]	2014年	2015年	2016年	2017年
総建設案件	19.44%増	17.6%増	4.34%増	26.9%増
建築総面積	(約9%減)	約13%増	48.9%増	(6.1%減)
総投資額	(約10%減)	約33%増	約57.46%増	約22.31%増
建設事業・建設計画調査のライセンス取得企業総数（社）	不明	48.7%増	16.38%増	(17.66%減)

※注意：2014年ライセンス取得企業数は（MLMUPC）の年次報告において記載なし

上記の表からもわかる通り、カンボジア建設業の成長は著しく、2017年度は、建設案件が全国で3052件、建築総面積は10,746,219m<sup>2</sup>、総投資額は前年比22.31%増となる約64億2800万USDであった。そのうち、住宅建設プロジェクトは2291件、建築総面積は5,565,191m<sup>2</sup>、総投資額は約22億3000万USDである。プノンペン市内の5階建て以上の建設案件は188件であった。



[近年ダイヤモンドアイランド地方における建設しているプロジェクト]

【写真】 <http://www.lareine.com.kh/news/eco-bussiness/20591/>

#### ◆2018年の月次報告書（1月~6月）

2018年						
月次報告書	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総建設案件(件)	289	297	293	292	199	277
建築総面積(m <sup>2</sup> )	694,203	193,347	356,269	3,005,416	330,488	829,768
総投資額(USD)	約2億9800万	約6285万	約1億4063万	約11億3243万	約1億3890万	約3億7641万
建設事業・建設計画調査のライセンス取得企業総数(社)	21	34	13	31	16	27

#### 2018年上半期報告書：

建設案件は全国で1647件、建築総面積は約5,409,491m<sup>2</sup>、建設事業・建設計画調査のライセンス取得企業数は142社、総投資額は約21億5300万USDであり、2017年上半期の総投資額データと比べ、約56.94%減となった。2016年及び2017年の建設プロジェクト数の大幅な増加により、2018年にはこの成長が鈍化したとみられる。また、2000年から2018年上半期にかけて、建設案件総数は全国で41,916件、建築総面積は108,279,920m<sup>2</sup>、総投資額は約402億9511万USDであった。建設

事業・建設計画調査のライセンス取得企業は 2210 社だったが、現在のカンボジアにて実際に活動している建設事業者数は 1,058 社程にとどまっている。

#### 4. 建設業における労働者不足課題

カンボジア国内での建設プロジェクトの増加は、同時に多くの雇用を創出し、一日あたりの雇用者数は約 25,000 人から 30,000 人と推定されており、プノンペンでは約 9,000 人から 12,000 人の労働需要があると言われている。なお、労働者の月給は非熟練工の場合で 150～250 USD、熟練工は 350～450 USD、エンジニアもしくは建築家は 450～2,500 USD である。現在、非熟練工の数は 200,000 人弱にもものぼると想定される一方で、熟練工や現場管理を担える者は限られており、熟練労働者の人材確保が難しくなっていると国土管理・都市計画・建設省はコメントしている。今後、カンボジアへの投資が増えてくるとこの問題はさらに深刻になるであろうと予測される。その理由として、カンボジア国内の労働者の 80%は農業従事者であり、季節労働者として建設業へ従事することになるため、農繁期になると地元に戻ってしまう。よってプロジェクトの責任者は工事が完了するまでの間、作業員を確保できる保証がない。また、日雇い労働者はより良い雇用条件を求めて職を転々とするのが実状であり、すぐに仕事を辞めてしまうことから、労働者の技術不足も施工会社を悩ませる要素となっている。

#### 5. 終わりに

近年、カンボジアにおける建設業への投資は国内の財政政策にも後押しされ、カンボジア国内の経済成長の強力な推進要因となっている。一方で、労働者不足といった課題も浮き彫りとなっている。また、最近では建設ラッシュにより、国内の交通渋滞や環境への悪影響も懸念されるようになり、政府も不正建設の防止や厳格化を図るといった対策を打ち出してきている。こういった課題に対するカンボジア政府の対応も含め、今後国内の建設業がどのように成長していくのかが注目される。

#### 6. 参考文献

[カンボジアにおける最大建設プロジェクト]

<http://den-sharing.com/archives/17542>

[国土整備・都市化・建設省 MLMUPC の年次報告書]

[http://www.mlmutpc.gov.kh/?page=document&menu1=214&menu2=292&ref\\_id=24&ctype=article&id=292&lg=kh](http://www.mlmutpc.gov.kh/?page=document&menu1=214&menu2=292&ref_id=24&ctype=article&id=292&lg=kh)

**【岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク】**

<<日本国内デスク（株式会社 I-GLOCAL 内）>>

**【所在地】**：東京都中央区銀座1丁目18番2号 辰ビル7F

**【担当者】**：鎌塚 麻由子（かまづかまゆこ）

<<ベトナム/ホーチミン現地デスク（I-GLOCAL ホーチミン事務所内）>>

**【所在地】**：14th Floor, TNR Tower, 180-192 Nguyen Cong Tru Street, District 1,  
Ho Chi Minh City, Vietnam

**【担当者】**：本庄谷 由紀（ほんじょうや ゆき）

<<ベトナム/ホーチミン現地デスク（I-GLOCAL ハノイ事務所内）>>

**【所在地】**：Room 1206, 12th Floor, Indochina Plaza Ha Noi Tower ,  
241 Xuan Thuy Street, Cau Giay District., Ha Noi, Vietnam

**【担当者】**：逆井 将也（さかさい まさや）

※ デスクのご利用にあたっては、「岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、まずは岡山県産業企画課マーケティング推進室(086-226-7365)までご相談ください。